克尔瓦特里温度

行ふ銓衡級登は十二月十一日より

志願者に対する頻解を司令他の

光榮、この重責

橋本大佐談鈴 委員

に至ったことは同感に堪へないが

最とする総成が既に決定せられた

一腕型化の船側を徹施せらるること

/ 道部長談

になってゐる、特にこの受員に飲

震師、家庭の事情等を詳細に問答

原体弘岩がやがて隣長たる地位

先職などの歌歌によってとみに集 心配の熱り、半島からかけつけた

着の館ど大郎分が一死場公の聴意を以て一鵬艦切つたが、単在顕悟 整律時間急減の受付けを作廿日

に燃え耐然として志願し、内地同

同一百田軍参嗣、生福大佐、職本大佐と数る委員は事参嗣長を職委員長とし

常は今回層が影問者の能療器員、で一人人人の動物と表し、かつを動いと思い光感に思ってあます。 深た影画の決意の観が表現して使じ薄すき謎がい思いを聞し、悪、嫉命の忠忠に連典する国質を基して使じ薄すき謎がい思いを聞し、悪、嫉命の忠忠に連典する国質を基して、

の世話を続けてゐた川屋明納頭峰側があった。この一世一ケ月規則 华別職徒の凝領はまさに天を頭 原長に客位職友に檄を形はすない

戦空航沖島ルビ

ある附近を誇続してあるいずだが 果散機が悪じた酸艦船が統行して

職間即る大劇間と江東の格。その個に吸びこ気れるぞうには知した

白い航崎の指をひさつく投稿の指

のたのが二番機、一機に勘職は指

分間』香〇〇本の魚陰をこの短時を負って終ったのだ、値かに『〇

間のうちに悪く投制し、而も三部

り繁電一関のうちに酸縁は致命傷

Jまで値かに『O分間』文字語

中するかと見えた、あつ、危いと

職職二百一職。呉の没目に出た、反射面に作用で

上のの意気を射ってんだ、動脈

原語回途で行びつく今や簡単な海・射した。〇次皮膜域を総給の上に「結んだのだ」の情光と見るや陽は高端を対して「話しく」の背景に近年となるが、「栗の稗類は鷺螺法と設置され覚をのできた。」

一蔵に備へた秋々の皿のにじ

戦海重以外の

どこの

海軍に

別待し 部中させるといる離れ技にわが無

九日發】

雷撃の紫電ー

閃、屠る敵大型空母

じと無難を放った、攻撃開始から行った、〇次攻撃隊も遅れてなら

ル分割りその巨魔を海中に渡して

ず極めて難固健烈なる島民領成への商力を結集したのである

賦内における適信息往路千名、内地に風遊塔摩徒略二千五百合計三千五百の墓徒

歌を一致と馬揚り、懸作家を半島二三五百萬間歌の墓蔵に歌奏し島國世界職の職立の成果を收めたのである。この関早民に於ては支那京献以及和職、死つた雲國の竪

間く四に新しき一

度をはしてゐた。半島統治の根本課題たる島民質調、内賦一壁の紐帯は獺が上にも

け、二千五百萬半島の名器は御身たちの

米英を自らの手で刺せ、われらはこへに高

期間であったがける廿日で一頭解薬症の特別志願兵制度は必

前に次の如く取る「風景」――宝建

| 南上 | 人郷の紅風に反し書來の快|
| 序を顔守しては世界の永久和平は

べ米型の世界政策に一矢を聞いて

員會に横槍

国職を放てなしたことは全く

米國防長官ハルは十九日記活回台

ス十九日同盟。ワシントン郊口や

野不可能である』と次の如く述

岸獎學會理事長喜びを語る

の響れに競って飛頭の禁管を傾け、龍の何頼たらんとのが心を吐露してことに登談 和のもと今秋九月爆窓を巣立った野年にもまた町機志線の道も招かれ内地人と相似 に置を組み貨廠第一畝別に加けり、大東心共学園建設、世界維新の大鞭に極身する

あげて最常なる功特と在他の裡に暴兵志順の展出に廿日織切られた、この間原主

の徳に學兵志順の農出に背日議切られた、この閻野を殿に職を軍門への大道都がれてより3~に織一ケ月、内外、

不の総衡域在は、明線電司令官が総行、「既に域産委員長井原養調長柱とめ吉田加養は一十二月十一日から同市日経の間と記職選和と関レく前接して記録と著師を越攻し延ん節数を襲うた。 お中に以下・総名の空員の職成は決定し、 たっりである。 要求日政に被職を持つを能なり帰越は続して節めることだく検索とで向ってある。 要求日政に被職を持つを能なり総数は続して節めることだく検索という。 お頭に取ば星巣のの運動を取りて能なるの総数と変しない。

どうが志所高信義をは何能の心。祭ある館御機査を受けるやうに心

内地でも豫期以上

可怜にの思い思慮りてよる

名が高で前んで検査場が出演する。

世界平和の癌。人種觀念

孔祥熙、米英の世界政策に一矢

(国際廿日同 関)量近の軍

やう、この上とも個雑製

平山 東月 第十十三十一部千大四中形的 最限日的双 配合资金 所行政 平 太 育 島 人行在集機機 章 裝 手 仲 人 起 田

意兵司令部 舞鶴に憲兵隊

今回利用に北部殿足司令部をしめのである

を公布、即日置施した、

五千(譚)に鐵槌

行派司むて西北端し、殿の側がを北方四十五キロ)より小河河を引 田、豊久の際記録は柳角神(西治

だて脳の裾上窓出企園を紛糾しつつある

相次令據點奪取

定る疑問 一世際第一年日 マッツは十八日 では 1000 では 1000

パーでしい、伝れば、アメリカ太平

A COM

多個

見

繋するためアメリカ銀を上陸さいオル、デルバート両群島を制むたるまい、われくなマーなマーとはであるまい。

| 相供のて日本本工田園酸郷の完成

衛き各部隊はここに日臨続男を以

蕭清作戦を開始

化に伴ひ、既内的影响を催化すべ、軍管層における域与に必然に、「東京電話」陸がでは、戦闘の繁治「八司令器に関兵司令官にな

ざ出陣、半島全學兵

銓衡檢查十一

した草野、顆本、臙脂、切本の名 に思致なる頭荷作品を展開した

小篇河の中間山岳地標を示成とし【聲した大明、宮屋、中華、

土屋、近縁の諸部隊は収置を利し 穴、津見、層西、宮南、墓谷川、

して十八日前明を班して一門と

の北部地區における明地軍人への開放さび治安軍と歴史なる版一ていづれる十七日改生に大利軍四一時に十八日以外交通の火器を切りの北部地區における明地軍 方及び四階方で進出して指領域司(東日原小機構はで転出中の政府等

要衝臨澧を占領

また地上部以に成力する時間は

四時地震を議無中のわれ構造は十一と何の有力部域と幽密順を影響し、効果に同して減れ的なる問題群は一人日午前も時間と十四種の本理語、て十九日午前日時間は極端の清を占使したたける議論中である。

の東京院に十八日末期を期して東・國軍第世師長許徳太少將指揮の下

【前支〇〇前線にて提陸軍報道班

殿縮レー方東方大郎、南方太陽脚 に展尾山石古崎方面一帯より数を

廣九沿線掃湯戦進む 協を相ついで数取、吹き荒り

り版都に

とが終勤に必要だと考へ

れる — 七 件 大東亞 会域に 大東亞 会域に 一 七 件 き

保健に重要

として前線

慰問第一品

決戰下

条生 厚のヤシア栄共

a

に御奉公の 宣撫と厚生 更に現垃民

疲頭 野腐 にに

B

初異廿日(冬) 暖儿沿桥共產軍主力 【南支〇〇前縁にて中村勝軍職道 | 主力は野埠を経て一個と椒を攻断

意

の開始をしきりに要認、ニューヨー同時にニミッツ攻略とピルマ作取 ーク來口に似礼ば、ハンソン・ポ - クタイムス派上で太平洋騰攻威

の即応開始を要求して次の通り職

ッツ 笑止、作戦準 備は進捗せず

乏缺認

戦下にはピタミンBの消費量

潜伏性

胸氣に御用心ノ

数率ともかわ 東皮

融軍司令官マウントバッテンは十 だし作成強備の方はいまだ除り進九日正式に司令官に就任した。た リスポン十九日同盟】ニューデ 來商によれば東南アジャ反福 あない機様でニューデリー

立を希望するアルジェー政権に

難下の軍が對日の大反攻作職を起の軍事治息刑もマヴントパツテン

をいいでは、 を必要が知りのだめ をがありのだめ

譜面の技術的問題に忙殺されるだ べく揺営つては難容の整備その仲すまでにはなぼ相偕の期間を要す トバソテンの個限に関し英記軍司

令官オーヒンレツクは最近の立法 響動に於て吹の辿り述べたといは

皮膚科 化膿性疾隠に **g-5**7

丹 外 毒 傷 症 腹

》山之內製品《 近の間・100歳

医歴学に編入され同歌学 からエフランス版 リシュリュー - 來館 | 北部及磁・銀河 今部は十 て就役した国際表した 得ることとならう **りも面談の映道をうけこれを自** 佛戦艦リ號叛軍へ MZÙ

次十少ンピル水地 日東信嘉新官(ヤ) 次首月の小殿を創設 東南東東部北田餐 松川 明勝 東南東東部北田餐 松川 明勝 大社官を以て待遇をらる 水中部公内年次5日 (不上) 普技師 木村 独吉 を記憶を以て待遇をらる 總督府辭令(十九日) 中風・高血壓

原因から治療せよ

攻勝と 依原原本官(各通)

在

(可認物使郵應三第日十月八年九冊治明)

争戦亞東大・變事那支

助行物において有難を設命を難し 攻略作職、支那大陸にあつてはた勇士は南方人間にあつては

あらせられ、同日その同盟国籍な「発験歌画」、基々たる心動をたてあらせられ、同日その同盟国籍な「発験歌画」、基々たる心動をたて

たるものは外四担立を立した言語

殊勳甲,吉岡勝大尉以下三名

院総を聞いたのである。まさ本山 間加致機に高り対き間令として都 地が機能だく、小杯店が貼るした事。 は

3 | 同組五 | 同 | 底田 男夫 | 題 | 功五組四 少佐 | 内田 | 原人 | 2 | 四 | 元 和 | 四 | 元 和 | 日 | 原人 | 2 | 四 | 元 和 | 一 元 和 | 日 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和 | 元 和

で占領、主戦地互触の起因となる

| ○からは総局より要素をあた、医| 第七年記載のの総配に治した場上を非上雲中 | 薬のため数主力の立風者に散然離れの方式、医| 第二年の1 | 第二年の1 | 第二年の1 | 第二年の1 | 第一年の | 第一年 | 第一

選のため数主力のお閲背化散然遺 た、また影動甲本田早一伍長は比 光が特にOO作職にはOO変域施

松野さしのの修大なの前風を収め 同 同 見 5 本山 一郎 海切出 大阪 吉岡 勝 大阪

月峯成根原線電

弥勳甲 支那鸖變病死者 大東亞戰爭病死者

職の脳のすくやうな凱歌が綴った 蘇々たる職果だ、以下は基地に闘 第一次ブーゲンビル島沖航空戦の くは大磁幅派送二集圏がといる海

である。敢て之を設備するに之 のものである。まして凡てを けたやうな形となった を大容に射ち上口て來た、戦闘を 那に潜域もわが飛行機を極見し

~ ゲンビル島洲航空戦の悪戦にルリン十九島附属 五回に直

れを退付けるものとし次の三階が

一時価値を対はれてあた蝦醯

於ける職里未曾有の成職を制念

記と

米大敗の因を衝

過信

暗夜豆ひに抜打的に相手に斬りつとほとんど同時であつた、いはば 攻略命令の下ったのは〇〇時〇 的負職について充興側は例によっ

| 一概能調者であり、他の一般は日 シャン別島を保はり千島別島から によってのみ、経験出來るのであり

O分だった、顕物を狙ふ物のや

一番機が海面すれく 型容層目がして一方の前流が相對立して抗争 時に関し大変次の如く並べてゐる

ので必要の高く**総の**の本大郎対策自が、して一方の前流が利見立して抗撃。 ・世監督の高く総の本大郎対策自が、して一方の前流が利見立して抗撃。 ・する米盤原合回の出戦は米海軍自

いふのである。プーゲンビルに剝 吸によって日本本土に辿るべしと

【南西太平洋方面〇〇基地廿日回国】十八日韓国西部ニューギニャ フワクプワクで

フナフチ島 痛爆

| 六日末明縣鹽澤斯縣等職隊は選|| 大箇所に火災を生せし8た|| 所に全彈を開発卒律方面00蒸卵片目間器|| 機及び軍需資材を炎上| 區を爆撃、 チ島 の敵飛行場 を燃料。飛行く開翼を連ねてギリス雑島フナフ 節トロギナ岬附近の敵陸上地

特で。 よ、最後の五分間を心身の蛛魔

をわれらはもたない。被罪は既

京として響なき解疫、商品の空 出陳懸徒諸君、いま志願し終

> 利である。墓図民たる勝君がい なる認筋であり、また果ある権

れで終ったのではない。語君の皮疹はこ

壁図は再び諸君を迎へ、諸君を聞く動功を嫌って削削する日、

出陸島徒踏君。よくぞ勝君に

野に関しても早や西ふべき雷撃 に最國臣民に非ず、質の學能に

度すべく半島學佐に與へられた

のみ戦を戦ひ抜き、そして勝利

て概然雄々しく起ち上つた路差

を捨て、 凡ゆる世の絆を組つ ある。質なるべき無への未

> 関系に配く、その心情や正定要 界限のは悪に強い、増和の情熱 数個よく聴腕機の精積と思頭世 いはねばならぬが、なほ情君の 加は入ることまた管然の略一と

して断層である。

酷遇が故郷を 即ち踏君をして今日祭ある大道 期待してゐるのである。個國は

ばならない。

また製場は語道の優全なる四

つては元切の功を一覧にかくも

語念すべき拠度の日十一

出陣學徒の自重を祈る

盟し終うた一個の人間に過ぎた

意し終へた男子の異たる心の姿

既くかゝれる瀬月を印ぎ見る心

求する。 征含では 扇膜将士の 一 員としてその可能数据を顾民は

とを想ふくきである。 今中最優

であるが、諸君の心くな言素問

ものがあらう。製剤と

戦一調の機を好職とし、機関語

海鷲

所に全彈を命中せしめ 筒所爆破、八箇所を

フォーゲル・コツブ华島西岸の一

二來襲機擊退

壮裸 用 効 冷 法果溫簡優內

, 41

征く半島農報青年隊

(6)

逞しき増産敢闘譜

進歩中で関所に献を同節側滅院

題七六四 一、四七〇、複滅の一、四、小師一、四七〇、複滅のでは、三一五、作成一、四七〇、複滅の変が、三一五、作成一、

軍需省に委員會

運營の圓滑化要望

軍需會社法重產協建議

運用に関り留意すべ 電器資社法各條の 製魚頭で遊る山岳地標に引続き個底的に これが養滅を 切すべ

支 都 方 面

ピルマ方面

豫算八割査定終る ***

は「成盤、航江行艦、風速組など 南太平洋方面

虎の子艦隊海の藻層

ブーゲンビル管神の我が意果は空一谷にいへは『歌鬼に醉つてはな

主力整十五条、航空段階四級万・ひともどれを否定し得ないのであったが認力がある実践これを研覧に刻と次の獲得ポガル等られる無見であつたととは、今中旬人を経営ポカルある実践これを研覧に刻とれている。 ないこのである。石に示し地敷西

航

がいている。 がいている。 がいている。 を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 を

日2型模型機構が表現で、大利の機能があった。

痰咳熱

聞新日毎

→ 「月景・三十篇 ★ ☆ 四回三二)

斷乎、敵反攻を撃滅

況戰間週

ニューギニヤ方面

軍艦の種類

【完】

敷設するが水崩といふ危険なも作戦の必要に瀕じ、水綿を海面

小型軍艦 砲艦

總裁に廣瀬氏

十一月號

日本と中國林順

暉男本

利田介口

李将軍と話る・貴可山治

ブ島沖、輝く航空血戰

北方方面

中部太平洋方面

日夜セラム龍ブラに限カタリ バンダ海方面

作配は十三日後エリス階間アナフ チ語の激烈行場ならびに評算施設

を破職し、一ケ所を爆戦、四ケ所

●では伝統一、左近司政三、芸術英 重產指定要望

責任生產に拍車

としてゐる。その敬聞精神、その敬 た能技を映解させるため

大阪デートでは ・ 一を別数別からした。 ・ 一を別数別からした。 ・ 一を記述のでは、 ・ 一を記述のでは、 ・ 一を記述のできます。 ・ 一をできます。 ・ 一をできまする。 ・ 一をできまる。 ・ 一をできる。 一をできる。 ・ 一をできる。

企業。 (新四地方 高端 新四地方 高端

策型概力。結集

法文科大學と學生、今泉孝太郎

維時誌局

三つの軍職省・百々正雄政府機關紙論・稻田課一

大東亜画信館等三縣

の男子職業轉換を女子勤労全産業人脈起の秋☆温線本少は

ンソン・ボールドウイン に入れて置いたカル、等る安全で 及び釜勘安保の大型運輸を含金 後に吹きもの。との間に休日ら聞てスリュの野巣の縁を入一しかし少々似た海巣はごれき計算 幸七尊、巡邏艦十葉万里 十妻 るが。戦場を作品棚ごと「戦争の 米軍の墓穴と逆轉

麻袋製造成功

い前があり

原題を替せ

(新年で申込の上 献して下さい人試薬文献無代進星

無に概を採みながら稍刈に座播 製に倒くなき独民の増産旅跡

特派員發」どんよりした

「鳥取縣所子村にて須|おはいちんない」

『暑氣』と誤魔化す流汗

【東京電話】東久洲宮家では安 ・ 成子内親王殿下の御結婚 | 〇二回に

午餐の御内宴

故鹽澤大将の海軍葬

きのふ青山齋場で嚴重に執行

遠くマニラで傳達式 ※

とマニラにも勤務、甘日学師十時「蒙を慌された、この日東久郷大將陛下の御仕藤による御花はごのは一間ケ調離宮に召されて午館の御内

墨春眠いて 概約する先輩の破職、職然と大節に続り出た 門に別志順兵志師が七一月廿日をもつて終 定議院に賃回する順民粉練の担に料目六十萬寮軍の地位に貢献した。常教育の総権等や一撮殿立に對し優方教育を通じて全

能の中には他人に知れない悩みに苦しんだ勝利ものたであらう、 の耐欠酸の概念に明算れたのである。過速期に深つた生 沙陽路した者もあたであらう。だが紹々と打ちよせる必然的大戦

[東] 東]

に四君が手段を完了したが、残り一委員参列して奉告祭を執行、同時一

◆作品一個特に当、郡、屬於名、 惠年、氏名、男太別を明記し、 惠校長の邸印を菓子

看護婦募集

年朝日忠明君が

=

「韓(原衆会「下國)」「同八十一行された

樂屋裏から視察

彈丸切手當籤發表

日午前一時より郷天神社

で 教育は たち 弱 間 は た ち 弱 間 は た ち 弱 間

五日間完治 暖房裝置 和對無苦痛 入院室完備

神師、ネヒルモ/ 療治仕責者患毒中

宗城治豫院院治豫縣

精力强連例として卓抜なる効果を發揮する!

年を通じ百種年を通じ一層

◇表彰式は昭和十九年二月十一日附級上

銃後は明朗・會計は正確

旅後は明明 曹計41日明 檢查鑑定・證明・決算 會社設立・解散 清算 海 第 章 計 理 士 島 津 計 理 士 事 務 所 平 聖師即中一,理 (四則本即) 婚證明七 · 四九八六章 無料 經濟相談所

午後一時华板原軍司令官は井殿軍

の無點となって連日極隣員の確況

一同地戦美術的戦争は府民の人類

を呈してゐるが半島昼徒に開かれ

本院製御館で開催中の本社主催第

朝日性病科 企業活動で製造制をの調合の機能がある。場合の機能がある。のでは、一般の対象が、一般の対象が、一般の対象が、一般に対象が、一般に対象が、一般に対象が、一般に対象が、一般に対象が、一般に対象が、一般に対象が、

ロルストゲン科 性設 相 科

京南物產株式會社家城府龍山區線兵町百邊將營幣地

解 散 公 告 解 教 公 告 解 教 公 告

私の治療薬を教へる

は、市で小る人へ無代で学・ます早くお子成下さい。東京市書館は 第三大谷町ニ・ハのカハ・木内生学

下司利一氏戰病

批特版員下

一、募集人員 多 数 一、申込締切及場所 一、連身資格 (1) 参贈帰継ナル雄二の様じ上四の様迄? 一、提出書類 自率域原形一項、寫賞一葉 一、提出書類 自率域原形一項、寫賞一葉 「提出書類 自率域原形一項、寫賞一葉

清津製鐵所行工員募集

程で無煙炭炎さに改造御引受 型に無煙炭炎さに改造御引受 在來の有煙炭用 ストーブを簡

こゝは東京都下北多原郡村山村ー秀隆宮土を武磯野の機林の彼方「長、民隊長、

東京陸軍少年飛行兵學校上

使の場合があり、楕田茂相が立つ「区型へられ羆場層の窓板=総会」「み、京城市防衛本部では紹氷席の「賦予促した」

空情勢と防烈立材の関連難に鑑めて相解は無いか、疑認な

防空施設選材の保容手入れについ て西二十四座國球領に次の如意定

冬の防空用具にこの注意

桐は排水、莚類は乾燥

穴吹卸門の数鼠であつた相内局 て頼もしいものを感じさせる

の開始級、熊振・動物・兵者 決議力を保険する時の各種酸物の し備へ機助性、機をみて踏み込む

あ店園園 申報の FO T

上四年六 上面年六 上面年六

一、、社任豫定

ストーブ改造お知らせ!!

君等の前途は輝 ぞ起つた若人半島

| 外線圧御行の様だる花花質を結んで短へてくれるであらう。 みや牛 | 頭の腕から連る髪の膀胱であったことを

び審査要項 募集要項及 就被答為 一、概義宣為
立 絕內關因屬政府 等、高部将京軍(簡易感效兒室 4年)

募集要項を改正

去り難き感慨

板垣将軍 美術展を観覧 し去り難い面持で密場を一巡り

入場方法…—▲出頭遊話馬馬名、電 **懐絕南太平洋の海戦**科

以されるといってもよい、 年後の

至 华高大明 有 华高大明



入校は四月、十月の二別、現在 輝く戦果もかくて雛鷲は鍛ふ

内を東西に通ずる除駅路の一般に

3

キイ商店築版部





番 鑛 一公用スク隠り

日本繪画大普及

野 亜 美 術 院

名古屋 父

英國産業革命史

高山麓院)

| 重要電船についての記録||一番

たもので、トロラク部落開ソム戦の影響な一場面を描 まで後匙を除事なく

原信艦

層の職心に武物激る液中腫瘍雄長 | 時京城府中島初音町台により極井

南方の華三英靈

聖戰美術展

傑作畫譜 3

トロラク・スリムの戦

て森本少佐の識許があり同士暗蔵 志を盛りて開壯に終始したが終っ

健身削減する敷名の工具がた 芝便命指成の崇話な一點に夢

職性所以子順は『私たちの順場

子爵李君も遅れず志願

名も命もいらぬ

とに決定、志順総切の廿日に解版」の間々はじめる奏えある長に召さ、聞きれる【宮庫=霊輿けの町番】 智規部委員曾では風徒晴れの入館 即駐窩庭殿脱籍属版は廿日三越南」れたり形々の傑作 場で蘇を開けた時辺第一階・収穫しけらればを終たぬが廿六日でで

本府の女子職員が固い申合せ 演の下、誠心體めて出滅する各學

決戦ですモンペを常用

末だに四割 富川の籾供出 國語全解へ

半島同胞にも栄光の軍門は拓かれ

無限製藥菜會社

阿峴禮式部

募

新本計理事務

町分曾では京城文部森本文佐査園

山火事に用心 いよ山の乾燥も減しく、風風のた

をできる人の為に他女性五氏である。 総へ…………小はみっそか。ら、総へ…………小はみっそ

保証の無理なる。 人報場・ 路 魚 ス報 場 生 物報ス 場劇一第 場劇陸大 京 若一镫 城 劇

盗山府大橋連ニノ六 山府本町二ノ五 朝洋海連株式會社 迫 電話五八〇二











第一放送 朝 和 00 ランオキュニ

海野十二作 松次郎(繪)

完備實來運搬部

新半星**對大部** 新半星**對大**語

本作供州ふ 二機ンの小型 一大板の記録 一大大型 一大工型 一大工型



ことになった。なほ同音常行公

出陣に續け

煉炭のガス 注意が肝要

%兵に召されたり。の感激

出戦と眩んで許された九月本製者 日戦に好機到來せりと欣然志願

愛弟子百十名が各軍學校志願

にあの一つ一つが空高の製術 にあの一つ一つが空高の製術

聯盟寫眞展、きのふ幕開く

11百廿四名

地主報國會總會

二千二百名

的散場が最初に配募してその一て打合せき行うた

學兵送る大いなる合唱

のことの日かてからへ間の 単れと

州生活 内科文光線 京城駅裏 中林町六一

貸衣裳哪冊是用式服

軍艦旗南へ行く

館樂 喜 場劇花桃 座 日 朝 館畵映信和 場劇央中 場劇南城 座 始 明 場劇経日京

只令休復中です NAMES OF THE POST OF THE POST